

# 文化協会報 せせらぎ

第44号 since 1984

令和4年2月1日 発行/東御市文化協会/Tel. 0268-62-3700/<http://tomi-bunkakyoukai.jp/>

## コロナ禍の中での進化した活動発表 分散型展示&動画の配信(第3弾)



### ミニ文化フェスティバル ロビー&ウェブ展開催

令和3年11月7日〜12月25日まで

の7週間、東御市中央公民館2階フロアーにおいて「ミニ文化フェスティバル・ロビー&ウェブ展」を開催しました。例年ですと、この時期東御市総合文化フェスティバルが開催されるわけですが、コロナ禍のため開催できずこのままですとコソコソとコロナ感染予防対策を講じながら活動してきた苦心の賜物を2年連続お披露目出来なくなりません。そこで密集・密接・密閉を極力避ける方法として企画したものです。基本一グループ一週間ごと順次交代で展示することで三密を回避、さらには一昨年から導入しているYouTubeの動画の配信とケーブルテレビでの放送も行ない、より広く活動を紹介しようとしたものです。

また、開催案内チラシと案内はがきを出展者に配布し出展者みずから広報宣伝して頂くという自主的な活動をして頂きました。おかげさまで大勢のご来場を頂きました。

もう一つ今回、初の試みとしてロビー入り口に華道部の皆さんの協力で開催期間中7週間通しで、代わる代わるウェルカムフラワーを生けてご来場のお客様、さらには中央公民館を訪れた利用者の心を和ませてくれました。

今号のせせらぎは、この展示の模様を紹介いたします。

まずは、ウェルカムフラワーの各週の一部をご覧下さい。

### 花で心に潤いを



## まろにえ絵画 好遊倶楽部

第1週目（11月7日～13日）は、今年20年目を迎える「まろにえ絵画好遊倶楽部」による作品展示です。

今回は皆さん頑張つて仕上げた頂き23点もの作品を出展して頂きました。

コロナ禍で行動範囲に制限は有るものの、感染リスクの少ない自然界での活動で数多くの作品を描かれたようです。中でも復旧した別所線の作品が多く見られました。どの作品も完成度が高く、訪れた来場者は一点一点じっくり見入っていました。展示の様子はウェブ配信とケーブルテレビで放送予定です。



## 写団SFC

第2週目（11月14日～20日）は写団SFC。このグループは今年50年目を迎える活動歴の長いグループです。先生となる指導者を持たず、会員同士が作品を評価し合つてレベルアップをはかっています。

コロナ禍でグループ団体行動が出来ず、それぞれ個別の活動で撮影した作品を中心に20作品が展示されました。

白鳥や蝶の動きの瞬間や、時間とともに変化する景色の瞬間を見事に捕らえたものなど心に残る作品ばかりでした。



## 彩明会

第3週目（11月21日～27日）は、絵画部会彩明会の水彩画の展示です。

気候の良い春から秋にかけては外に出かけて風景画などをメインに描かれており、寒い冬場は公民館を教室にして野菜や花など静物画をメインに描かれているとのこと。書き終わると、メンバー同士でお互いに作品の講評をしあいレベルアップを図っているそうです。

程よい田舎の東御市付近はまだまだ自然がたくさんあります。絵を通して程よい田舎さん

ご紹介してほしいです。



## 水仙の会

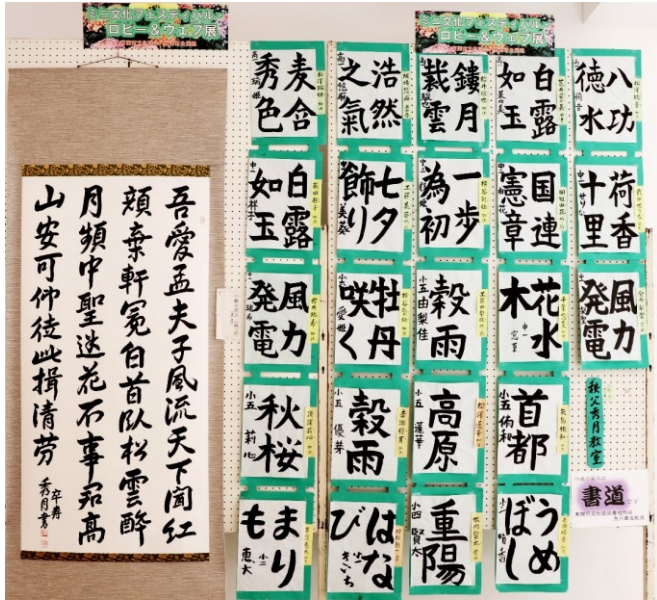
第4週目（11月28日～12月4日）は、水仙の会の展示です。

このグループは、生涯学習講座の講師をも務める高藤先生が率いる絵画グループです。

高藤先生のアドバイスを受けながら、伸び伸び、生き生き活動している様子がインタビューからも伝わってきました。

インタビュウの様子を交えて YouTube の動画配信とケーブルテレビでの放送も予定しています。展示の様子をテレビやスマホでご覧下さい。





秀月書道教室は先生の書と子供たちののびのびとした作品の展示がされました。

## 秀月書道教室

第5週目(12月5日~11日)は現代詩牧笛の会、俳句の水音句会、表具の八装会、書道の秀月書道教室の作品展示が行われました。

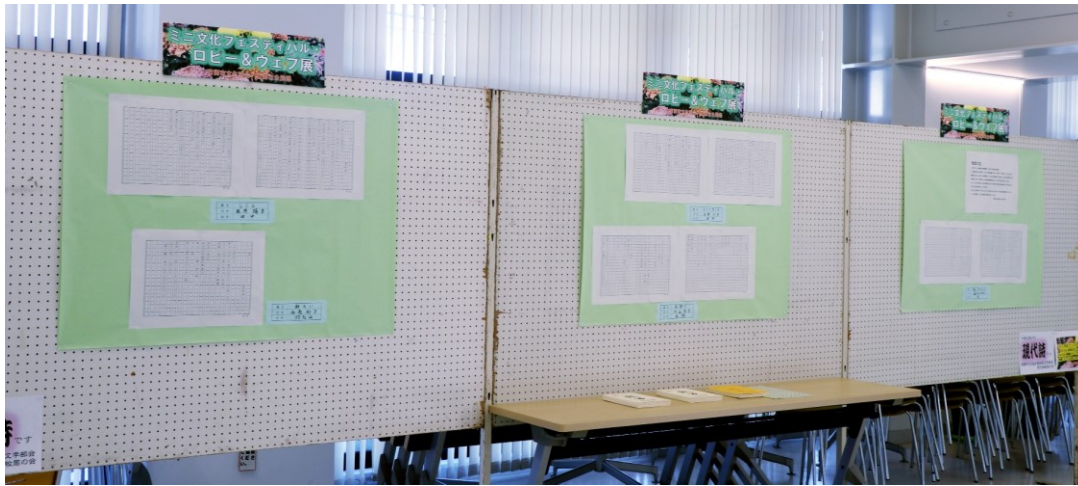
## 水音句会

水音句会は短詩型文学部会の中で窪田英治先生を指導者に招き俳句を楽しんでいるグループです。一昨年いち早く句会をYouTube 配信したグループです。興味のある方はご覧下さい。



## 現代詩・牧笛の会

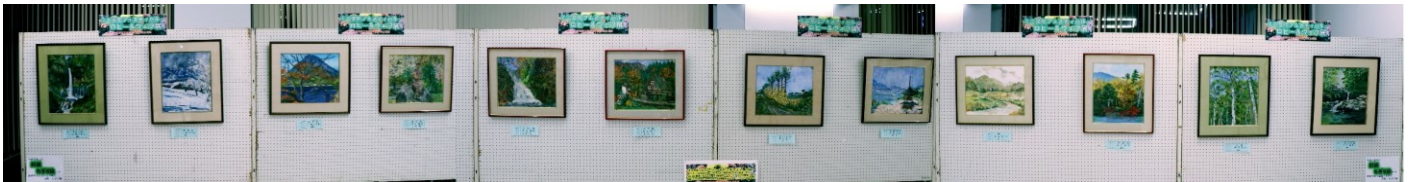
現代詩牧笛の会は短詩型文学部会に属する現代詩を学んでいるグループです。



## 八装会

八装会は工芸部会に属し表具を楽しんでいるグループです。表具の技術は中国に発祥、日本へは飛鳥時代に渡来と言われている。作品だけでは目の見えないものが表具の技術によって掛け軸などとして飾られる。





## 和紙・ちぎり絵

第6週目（12月12日～18日）は和紙・ちぎり絵の展示がはじまりました。訪れた半数ぐらいの人が絵画と間違えるほどの出来映えには関心するばかりです。



## 籐青会

第7週目（12月19日～25日）は工芸部会籐青会による籐工芸品の展示です。実用的な籠類から、かわいらしい干支の置物まで色々な物が作られており来場者を楽しませて

籐で作った干支物語



伝統文化いけばなこども教室による Ikebana for Christmas

いました。この籐工芸作品も趣味と言っても本格的なもの。市販の高級品と変わらぬ出来映え。この籐工芸作品の作成風景も一昨年 YouTube にアップしてありますので興味のある方は東御市文化協会チャンネルでご覧下さい。今週の最終日 Christmas に合わせて伝統文化いけばなこども教室による特別参加で Christmas 生け花を生けて華やかな会場にさせていただきました。

## 編集後記

昨年コロナ禍での一年となり文化活動もままならない年となってしまいました。そんな中で毎年開催していた総合文化フェスティバルも会員アンケートの結果中止となりましたが、あきらめきれず、模索した結果今回のせせらぎに特集した内容の「ミニ文化フェスティバル・ロビー&ウェブ展」を開催することにしました。

とは言っても、感染警戒レベルがなかなか下がらず当初の計画より三週間遅れでやっとスタート。何回も計画直して期間短縮。でもなんとか7週間の日程が確保でき当初の目的をクリアすることが出来ました。期間が長くともれたので中央公民館を利用の人達にも立ち寄ってご覧頂くことが出来、こういう方法も有りかなとも感じた次第です。後日 YouTube の動画の配信とケーブルテレビでの放送も予定しておりますのでご覧頂ければ幸いです。

- 広報委員
- 天野泰二郎（舞踊部会）
  - 庄村 茂（合唱部会）
  - 太田 光弘（文芸創作部会）
  - 成山 喜枝（教養部会）
  - 寺島 彰男（カラオケ部会）